

こんにちは！日本共産党市会議員 玉本なるみです

連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075 - 432 - 3261

2024年4月②号



能登半島地震災害支援 <特集>

4月8、9日の2日間、日本共産党京都市議員団10名（議員7人と事務局員3人）で石川県七尾市の能登島を訪ね、地震の被災者に支援物資を届けて要望等を聞きました。

8日の早朝に京都市役所前から車で出発し、石川県羽咋市に日本共産党や民主団体とで設置された『能登半島地震被災者共同支援センター』に昼前に到着。センターからは初めて支援活動に入る能登島の一番被害が大きかった野崎という集落に入りました。島に渡る橋は2本ありますが、1本しかまだ通れず、道もやっと簡易な補修がされ、段差もある状況でした。3ヶ月経っても、瓦礫の山があちこちにあり、言葉を失う状況に多くありました。

古い家屋は全壊や半壊など住める状況ではなく、やっと4月に入って水道が通り、帰ってきたばかりという方が多くお



倒壊家屋が多い能登島・野崎の地域



共同支援センター前にて



元搭南高校前にて

巨大給食センターを建てようとしているグラウンド



私は西賀茂居住の共産党後援会の方と二人で、搭南高校跡地から、西賀茂中学校へ走りまわりました。途中渋滞がほぼ無い状況で教育委員会の予想する45分間かかりました。雨の日や渋滞があると間に合わなくなる可能性がありました。新たに全市統一の署名を集めます。ご協力を！

支援活動に参加して思うことは、共産党を含むセンターがあることの意義は大きいし、今後は奥能登に行きやすいように半島北部の穴水の地域にも拠点を作るとのことで、センターの体制強化も必要と思います。党の自治体議員が少ない地域だけに全国の党組織が支援する必要性を実感しました。京都市も、職員リストラが進められ、公的な役割が果たせるのか大いに問われると思います。市議員団としても今後も計画的に参加できるように検討していきたいと思っています。



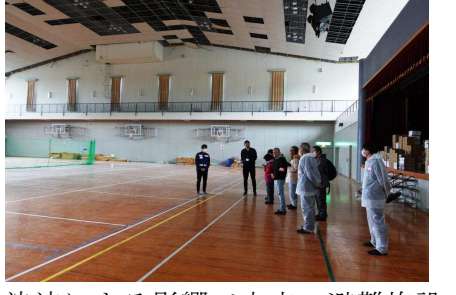
一軒一軒訪ね、お困り事等を聞く



開設したばかりの仮設住宅。見た目はコンテナようですが、中は北海道仕様で、木材の内壁で、木の匂いのする仮設でした



↑倒壊家屋を前にて、撤去するのも大変です。全壊のお家の方はどこにおられるのか・・・。
←右手前の家は新しく被害はほとんどなかったのに、奥の家が傾き、家屋がずれて寄りかかってきており、屋根の一部が損壊してしまっている。



津波による影響で本来の避難施設ではなく、急遽避難所になった体育館。最大70人が避難。現在は10人に。天井の板が半分ほど剥がれ落ちている

アンテナ 給食配送実験

せっかく全員制の中学校給食を実施することになったのに、南区の搭南高校グラウンド跡地に26000食を作る巨大給食センター（工場）を作り、全市の中学校にトラックで運ぶという計画を進めようとしています。しかも、①食器のみ、②給食の食缶など、③使用食器の回収の毎日3往復も行います。調理完成から喫食までの時間は2時間以内とされています。間に合うのかという懸念がある中、教育委員会が示している配送を実際に車で走る実験をしてみました。

